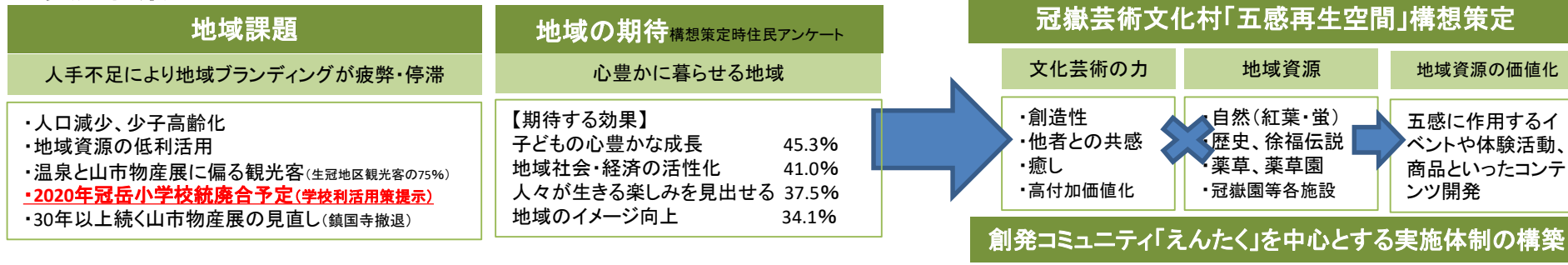


### 1. 事業の目的

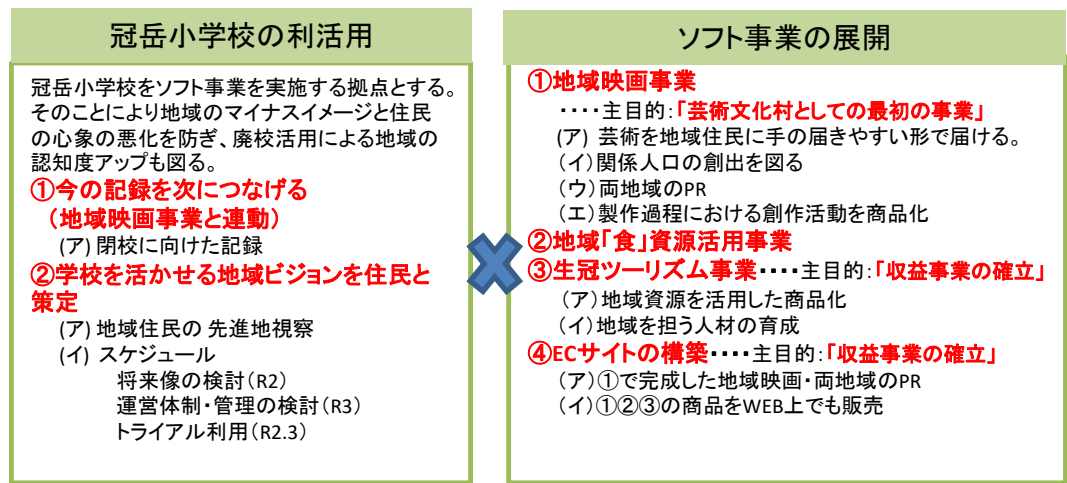
- 官民協働により冠嶽芸術文化村という地域ブランドの確立を図ることで、人口減少下にある生福・冠岳地区において、地域に暮らす人々が生きがいを持って心豊かに日々を暮らし、誇れる地域になることで、住み続けたいと思える地域の創出を目指す。→**持続可能な地域の発展**
- そのために、関係人口を創出し、文化芸術を切り口とする地域資源の利活用により、**地域における稼ぐ力を創出**する。
- 2020年度で廃校となる冠岳小学校を文化芸術活動、地域経済活動の拠点とする**ことで、地域の人たちの心のよりどころである学校を活かす。
- 実施主体として形成期にある創発コミュニティ「えんたく」が自走できる環境を整備し、地域における文化芸術振興と地域経済活動の継続を図る。

### 2. 実施背景

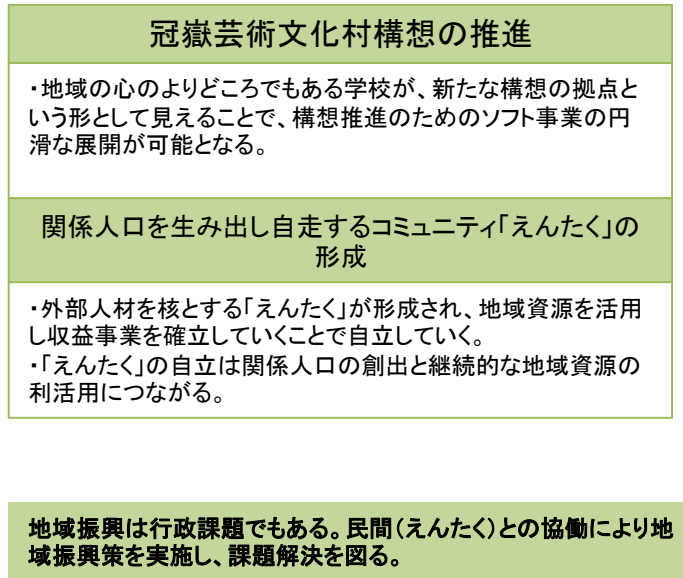


### 3. 事業概要

冠岳小学校跡地を活用し、将来的に芸術文化村の核となるコンテンツを産み出すため、まずは、様々なソフト事業を展開し、地域に多様性のある創作活動の集合体を形成することを目指す。



### 4. 事業効果



6. 事業展開

2019

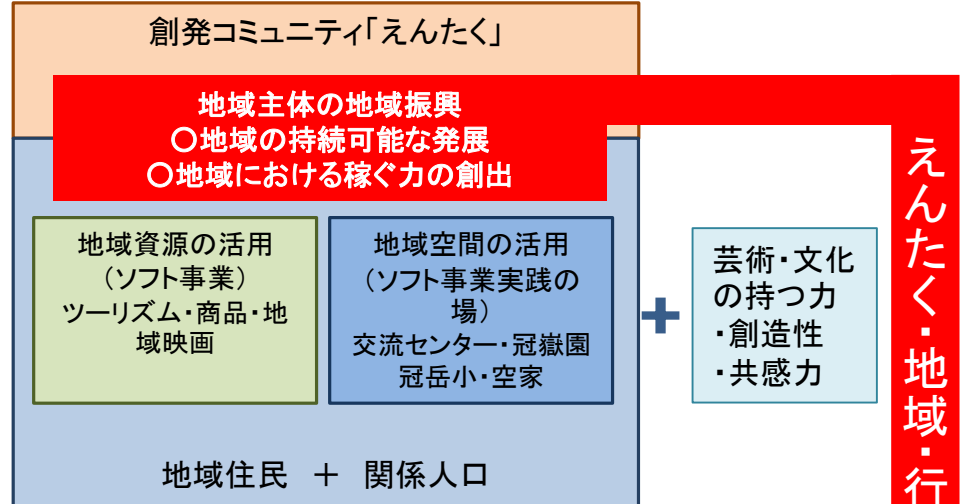
- ・創発コミュニティ「えんたく」発足
- ・自走に向けた方策の検討

2020

地方創生推進交付金事業		
様々なソフト事業の展開		冠嶽小学校
地域映画 ・映像撮影 ・写真撮影 ・BGM作成 ・服飾 ・タイトルロゴ ・編集 ・演出 ・ディレクター ・上映 ・製品化	ツーリズム・商品化 ・弁当 ・ハーブ ・登山 ・陶芸 ・自然散策 ・木工 ・八十八箇所廻 ・星空観察	○学校を活用した地域将来像の検討。 ・地域との協議 ○構想(ソフト事業)実現の場となる拠点としてのトライアル利用 ・課題整理

2021

2022



2023~

場とソフト事業を一体的に運用	
・3年間で様々なソフト事業が生まれ、多様性のある集合体(文化村)が作られていく。 ・継続する中で地域の望む方向性や関わる関係人口、またそのときの技術や環境などにより、ソフト事業の淘汰や発生が生じる。 ・核となる事業の発現	学校活用 ・登山拠点、カフェ、アトリエ、宿泊、ワークショップ、スタジオ など 交流センター ・料理教室 次郎工房・愛林工房 ・ワークショップ

「冠嶽」をアップデート

「冠嶽」の文化・歴史、自然(モノやコト)を掘り起こし、磨きをかけて、それに共感する多様な人々(関係人口・地域住民)による相互作用(\*)を引き起こすことで、今の時代にあった「冠嶽」に再構築していく。  
 ※住民にとっては気付きや郷土愛、関係人口にとっては非日常の体験や感動

えんたく・地域・行政が共有していく縦軸

